

# 中村かずひこ通信

【発行元】中村かずひこと未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285 vol.13  
ホームページ <http://www.nakamurakazuhiko.com> e-mail [tonpei@i-berry.ne.jp](mailto:tonpei@i-berry.ne.jp)



市民と市政のかけ橋になりたい!!

☆お気軽にお声をかけて下さい。

お友達との井戸端会議、勉強会等、2〜3人でも結構です。どこへもお伺いいたします。

☆あなたのアイデアを市政にいかしたい!!

お気づきの点がございましたら、どんなささいなことでも結構です。ぜひご意見を!



中村、13回目の登壇!

## 6月定例議会・一般質問

6月定例議会の質疑・一般質問が12日(月)、13日(火)の2日間にわたって行われました。中村は12日の最終質問者(4人目)として登壇し、

1. 財源確保に向けた今後の取り組みについて
2. 真岡鐵道の経営支援・自立化について
3. 真岡コンピュータ・カレッジの運営方針について
4. 真岡木綿の振興策について
5. ひまわり園の運営方針について

の計5件について一般質問を行い、執行部の考えをたずねました。

(中面に関連記事)



傍聴席から

K.Tさん(熊倉2丁目在住)

私はこれまで、何度となく市議会の傍聴席に足を運んできました。未だに見ていて気になるのは、一般質問の形式です。まず議員が全部の質問を行い、それに対して市長たちも全部まとめて答弁しています。しかも部長たちが答弁する時は、議員が質問をした順番とはまるで違ってしまおうので、「今、どの質問に答えているの?」と混乱することがあります。私たち市民のために議論しているのなら、市民に分かりやすい方法を考えて欲しいといつも感じることで、

### 議会制度改革に向けて議論再開

## 議員定数問題等研究会

### こんなに違うの!?一般質問の方式

【真岡市の場合】

本質問

議員はあらかじめ通告しておいた全てのテーマについて一括して質問。その後、執行部も全ての質問について一括して答弁。

再質問

執行部の答弁に納得できない場合、議員は疑問点について一括して再質問。その後、執行部も全ての再質問について一括して答弁。

再々質問

再質問と同様

ここで打ち切り!  
制限時間30分  
(議員発言分のみ)

【他の議会では...】

一問一答方式を導入している議会

|                |              |         |          |          |
|----------------|--------------|---------|----------|----------|
| 本質問から一問一答方式    | 栃木県 60       | 足利市 35  | 栃木市 30   | 日光市 50   |
| 再質問の部分から一問一答方式 | 宇都宮市 30 + 15 | 大田原市 30 | 矢板市 30   | 那須塩原市 40 |
| 真岡市と同様の方式      | さくら市 60      | 下野市 60  | 那須烏山市 90 |          |
|                | 佐野市 60       | 鹿沼市 90  | 小山市 30   |          |

※自治体名ヨコの数字は各議会の質問時間。(単位:分)○は議員発言分のみ、□は執行部答弁分込みでカウントしていることを表す。  
※宇都宮市は本質問が議員発言分のみで30分、再質問以降は執行部答弁分込みで15分という方式をとっている。

これまで真岡市議会では、各会派の代表と当選期別の代表が集まって「議員定数問題等研究会」が行われ、改選時から定数4名減となること、今年3月に決定したところ。その後、同研究会の活動は一旦休止していましたが、6月19日から議論が再開。今後は一般質問の「一問一答方式」の導入など、議会制度改革に向けた具体的な話し合いをしていく予定となっています。

「見逃した」という方にバックナンバーをお送りします

「これまで『未来をつくる会』では、毎回定例議会終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ましたが、1〜12号までを見逃された方は、お気軽にご連絡下さい。こちらからお送りさせていただきます。

皆様のご参加ありがとうございました

## 第3回 市政報告会を開催!!

4月25日(火)午後7時から大谷公民館にて「第3回 中村かずひこ市政報告会」を開催し、市内の様々な地域から40名を越える方々のご参加をいただきました。

報告会では、まず中村が「議員定数削減の経過報告」や「今後取り組みたい課題」などについて話をしたあと、参加者と約1時間半に及び意見交換が行われました。

【一口メモ】

今回、参加者の皆様からお寄せいただいた意見では、「市職員の対応」に関するものが特に多かった印象を受けました。市民が行政に求めているのは「できる・できない」よりも、まず「誠実な対応」ということなのかも知れません。(中村)



次回発行予定日

10月15日(日)

発行予定日です。新聞の折り込みチラシをご覧ください。





質問:中村かずひこ

# 中村かずひこ議会レポート

## 6月定例議会

答弁:福田武隼 市長

### 財源確保に向けた今後の取り組みについて



**質問** 近年、独自に**広告事業を行う自治体**が増えている。  
**埼玉県坂戸市**(人口9万7千人)では、市役所の受付カウンター等に広告スペースを設け、**昨年度は540万円の財源を確保**した。  
真岡市でも同様の取り組みを検討してみてもどうか。

**答弁** 現在、市役所の庁舎内は、**広告スペースを確保するための余裕がない**。また、新たに設置する場所を確保することで、事務に支障をきたすことがあっては困るので、**現状においては難しい**。  
今後、各自治体の取り組み状況を見ながら判断していきたい。

**質問** 「フルキャストスタジアム宮城」や「日産スタジアム」のように、企業等に**公共施設の命名権を販売する「ネーミングライツ」**を導入する自治体が増えている。  
**山梨県韮崎市**(人口3万2千人)では、文化ホールについて「ネーミングライツ」を導入し、**年間600万円の財源を確保**している。  
真岡市でも**市民会館を対象に「ネーミングライツ」を導入することは、できないものか**。

**答弁** 「ネーミングライツ」を導入しているのは、大規模なイベントが開催できる等の特性を持った施設である。  
それらと比較すると、真岡市の**市民会館**は、式典や各種行事等の定期的な利用が9割近くを占めており、**広告媒体としてメリットがあるような大きなイベントを開催する余地が少ない**。  
したがって、「ネーミングライツ」を導入することは難しいと考える。

### 真岡鐵道の経営支援・自立化について



**質問** 関東鉄道では、つくばエクスプレスの開業に合わせて、昨年から**下館～秋葉原間を3080円で往復できる割引キップ**を販売し、**乗客増につなげている**。  
同社の割引キップを見ると、**磁気式のものではなく裏面が白いキップ**である。  
この手法を参考にすれば、**真岡鐵道でも、関東鉄道やつくばエクスプレスと連携しながら、最低限の投資で割引キップの販売が可能である**と考えるが。

**答弁** つくばエクスプレスでは、**無人化での運行を進める予定であるため、今後は磁気式のキップでなければ使用できなくなる**。  
今後、真岡鐵道としては、SLを運行しているという特性を活かし、首都圏からの誘客アップを見込めることから、**関東鉄道やつくばエクスプレスと旅客連絡協定が結べるよう働きかけていきたい**。

**質問** 真岡鐵道は、**経営対策基金が枯渇**する見通しとなった。そのため、**真岡市でも今年度「真岡鐵道運営費補助金」**を設け、**679万4千円を予算化**した。  
真岡鐵道に自立した経営を促していくために、**市として何か方策は考えているのか**。  
例えば、**広告事業について見ても、真岡鐵道ではどれだけ集める努力をしているのか**、疑問に感じるが。

**答弁** 平成18年度から5年間を期間とする「**真岡鐵道再生計画**」を**昨年度策定**したところである。  
**広告事業については、高校生の通学利用が多いという特色を活かし、積極的に取り組めるよう支援をしていきたい**。

### 真岡コンピュータ・カレッジの運営方針について



**質問** **コンピュータ・カレッジ**は全国15ヶ所に設置されたが、**来年3月までに4校が廃校**する。真岡コンピュータ・カレッジの魅力をどのように高めていくかは、真岡市にとっても緊急の課題である。  
情報学系の学部がある**4年制大学と連携**を図り、コンピュータ・カレッジを卒業後、**希望する学生**については、**大学3年生として編入できる仕組み**を整えてはどうか。

**答弁** 国が所管する**官庁の違い**により、現在の法律では**編入が認められない**。  
そのため、全国コンピュータ・カレッジ連絡協議会で厚生労働省へ**法律改正の要望を出している**ところである。

**質問** 近年、**大学等で社会人を対象とした学部**を設ける所が増えてきた。  
こうした背景には、**少子化が進む中で従来通り高校生だけをターゲット**にしては、**学生の確保が困難になる**という大学側の危機感があると考えられる。  
**真岡コンピュータ・カレッジでも、土日や夜間を活用して、社会人を正規の学生として受け入れ、資格所得などのキャリアアップが可能なコースの新設**はできないものか。

**答弁** 社会人コースの新設については、  
①**就学希望の意向調査**  
②**新たな講師の確保や、現講師の勤務体制の見直し**  
③**コース新設に伴う費用対効果**  
等の課題があるので、今後研究していきたい。

**質問** 今年度、真岡市では「**真岡コンピュータ・カレッジ運営補助金**」を3837万3千円拠出している。これは、近年では**学生が最も多かった4年前と比較して、約2000万円も増加**している状況である。  
真岡コンピュータ・カレッジを、より魅力ある学校にしていくために、**市が考えている今後のビジョン**を聞きたい。

**答弁** 真岡コンピュータ・カレッジは、**就職率が100%、卒業生1人当たりの資格取得数が10.3個**で、就職先の企業からも高い評価を受けている。また、栃木県高度技術産業集積活性化計画の中で、真岡市は副次的拠点としての役割を担っている。  
**今後も引き続き、魅力ある学校の運営に努めたい**。



## 真岡木綿の振興策 について



**質問** 今後の真岡木綿の振興策を考えると、いかにして地元住民に愛される伝統工芸品に育てていくか、ということが課題として挙げられる。そこで、『真岡木綿の日』を制定して、その日は市役所、市議会、商工会議所等関係者全員で真岡木綿のネクタイ、スカーフ等を着用し、PRと話題づくりに努めることはできないものか。

**答弁** まず、真岡木綿保存振興会が中心となってPRと利用促進を図り、市民に真岡木綿の良さを知ってもらうことが最優先課題であると考えている。『真岡木綿の日』の制定については、現時点では考えていない。

**質問** 真岡市は昭和40年代以降、全国各地から多くの方々に移り住むようになった。つまり、帰省シーズン等に全国各地で町のPRをしていただける“宣伝担当者”が数多くいるということである。そうした特色を活かして、広く市民に『真岡木綿ファンクラブ』の結成を呼びかけて、(他自治体の『ロコミ観光大使』を参考に)会員がよその町に出かけた時、真岡木綿のPRをお願いしてはどうか。

**答弁** 真岡木綿保存振興会では、市民へのPRを推進するため、真岡木綿製品の割引などの特典がある賛助会員制度の導入を検討している。今後は、保存振興会が中心となって、市民による自主的な『真岡木綿ファンクラブ』の結成を期待したい。

## ひまわり園の運営方針 について



**質問** 『ひまわり園』において、母親からの要望で目立つのが「あと2日程度、母子分離通園の日(現在は1日)を増やしてもらうことはできないか」というものである。障がい児と24時間向き合い、親たちが想像を超えるストレスを抱えている現実も見逃してはならない。母子通園と母子分離通園それぞれの長所を活かして、3日を母子分離通園、2日を母子通園とするのが最も理にかなっているのではないかと。臨時等の保育士2名程度の増員が必要だが、財政的に見ても不可能とは思えない。

**答弁** 通園児童の年齢や障がい等には個人差があるので、母子分離通園を一律に週3日とするのは、一概に効果があるとは言えない。また、ひまわり園の運営費は芳賀郡市1市5町で負担しており、各町の負担増につながる職員増はかなり難しい。したがって、母子分離通園の回数については、通園児童の発達状況等を見ながら実施していきたい。

## 要望 財源確保に向けた今後の取り組みについて

栃木県でも県有施設について『ネーミングライツ』の実施を検討しているそうである。確かに現在、広告事業やネーミングライツを実施しているのは、都道府県や大都市部がほとんどである。しかし、真岡市のような規模の都市こそ先陣を切って取り組むべきではないのか。こうした事業に手をこまねいては、今後、大都市と中小都市における財政力の格差はますます広がるだけであると考えている。広告事業やネーミングライツについては前向きに検討されるよう要望したい。

## 再質問



### 真岡鐵道の経営支援・自立化について

**質問** 真岡鐵道の赤字は年間1000～2000万円程度である。つまり、列車1本につき3人の乗客が増えれば赤字は解消される。真岡鐵道が、他の鉄道会社と連携した割引キップの販売は難しいとのことだが、①つくばエクスプレスの無人化はいつから行われるのか。②つくばエクスプレスの協力が得られないのなら、関東鐵道とだけでは無理なのか。

**答弁** ①つくばエクスプレスの無人化がいつから行われるのかは分からない。②割引キップの販売については、観光協会からも要望が出されているが、真岡鐵道の収入が減るおそれもあるので、引き続き現場の声を聞く必要がある。

### 真岡コンピュータ・カレッジの運営方針について

**質問** 真岡コンピュータ・カレッジが地域で高い評価を受けているというが、では、入学者数が定員の半分に満たない状況が続いている原因は、どこにあると考えているのか。

**答弁** 学生の確保に苦戦している要因は、景気が回復傾向にあり、各企業が高校生の採用を増やしているため、結果としてコンピュータ・カレッジに入学希望者が減っていることが大きい。

### ひまわり園の運営方針について

**質問** 障がい児問題に詳しい県内の大学の先生方にお話を聞いたところ、親だけではなく、子どもの自立を考えると、適度な母子分離通園は必要というのが共通した意見だった。ひまわり園の母子分離通園も、週3日を基準としつつ、子どもの障がいや成長に応じて0～2日という複数のメニューを設ければよいだけの話ではないのか。

**答弁** 親がストレスを抱えて大変な思いをしているのは理解する。しかし、子どもにとって母子分離通園がよいのか、障がいの種類等からの検討も必要であると考えている。

## 再々質問



### ひまわり園の運営方針について

**質問** 今年度、真岡市では『障がい者福祉計画』の策定を予定している。障がい者・児や家族のニーズは当事者でなければ分からない部分も多い。彼らから要望を聞く機会を設ける予定はあるのか。

**答弁** 親からの要望についてはお聞きしている。障がい者の要望は、そばにいる人が感じ取って的確に把握するというように尽きる。





# 私の政治活動費

「議員さんの活動って、どの位お金が必要なの？」これまで多くの方々からそのような質問を受けてきました。そこで、この1年間にかかった私の活動を報告します。

(期間:平成17年5月1日～平成18年4月30日)

| 項目            | 金額       | 備考             |
|---------------|----------|----------------|
| 「中村かずひこ通信」発行費 | 964,697円 | 4回発行(新聞折り込み代含) |
| ホームページ更新料     | 111,342円 |                |
| 書籍・資料購入費      | 92,413円  | D-fileなど       |
| 研修参加費         | 54,500円  | 行政視察個人負担金など    |
| 交通費           | 101,210円 | 個人視察時の交通費      |
| 食糧費           | 17,644円  | 月例会・市政報告会の茶代   |
| コピー代          | 9,730円   |                |
| 通信費           | 19,640円  | 郵送料            |
| 文具費           | 5,064円   | 封筒、ファイル、ノートなど  |
| その他           | 0円       |                |

総額 **1,376,240円**



皆様からご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。  
※詳細に知っていただくため、個人視察時の交通費なども掲載しました。  
※なお、それ以前にかかった費用については、中村かずひこ通信「第1号」「第5号」「第9号」をご覧ください。

## コラム ずーむあっぶ

### 【質問】

市外に住む知り合いから、「明日、真岡市内を案内してくれる?」と突然言われたら、あなたはどこへ連れて行きますか?

広島県大竹市に寺岡公章という、私と同年の市議会議員がいる。今から2年前、研修会で知り合いになり、名刺交換をした時のことである。突然彼から「面白い名刺入れやね」と言われた。どうやら彼の目にとまったのは、私が使っている真岡木綿の名刺入れだったらしい。そこで、真岡木綿について型通りの説明をしたところ「そんな特産品があるやなんて…うらやましいわ」と真剣な顔をして言うので、こちらがリアクションに苦慮してしまった。

確かに、文化・文政・天保年間、江戸で取引される木綿の6割は真岡産だったと言われれば、誰もが特産品と思うに違いない。「隣の芝生は青く見える」とよく言われるが、真岡木綿も他の町の人から見れば、立派な「青い芝生」なのかも知れないと、その時ふと考えさせられた。

ここ数年、木綿の機織りを体験しようと、県外から物産会館を訪れる観光客が増えているとの話を聞く。前述の寺岡市議だけでなく、真岡木綿を「青い芝生」と評価してくれる人々が徐々に現れている何よりの証しであろう。

考えてみれば、決して不思議なことではない。SMAPの歌になぞらえ

真岡木綿も  
見方をかえれば  
『青い芝生』

て言えば、「オンリーワンどころかナンバーワン」だった歴史を持つ、郷土の文化なのだから。私たちはもっと誇りを持っていいはずだ。

「真岡には特産品がない」「見るべき観光名所がない」長年そう言われてきたし、私を含めて多くの市民がそう信じ込んできた。住みやすい町と高く評価される一方で、そのことが見えざるコンプレックスになっていたようにも思う。その結果、地域活性化という名の下に、実に様々な「新名物」や「新名所」「新イベント」を生み出してきたのが、ここ10数年間の真岡市の流れではなかっただろうか。しかし、多くのものが注目を浴びることなく消えていった印象が否めない。

「真岡が活性化するには何をしたらいいかねえ」と聞かれることがある。その都度「いやあ、既存のものを掘り起こすだけでも色々あるんじゃないですか」と答えるようにしているが、結局相手をシラケさせてしまう。しかし、スクラップアンドビルドの繰り返しでは、多少の刺激はともかく、人を引きつける魅力までは生み出せないだろう。

今あるものの「再評価」すらできない町に、活性化やまちおこしを語る資格はあるのだろうか。今後の課題は、地元に住む私たちが「芝生の青さ」を、どのようにして認識するか、ということに尽きると思えてならない。

### お知らせ

ただ今、中村のホームページ上で、下記のテーマについて皆様からのご意見を募集しています。

#### テーマ

### 安心して子供を産み、育てられる社会

～真岡市は今、何をすべきか～



- ・実際に子育てを経験して感じた疑問、不満
- ・「結婚」「出産」「育児」等の言葉から抱く不安
- ・他自治体の取り組みで「これはいい!」と思った支援策
- ・こんなアイデアはどうだろうか?

等々…

子育て経験の有無を問わず、お1人お1人の視点からのご意見をお寄せいただければ…と考えています。

ぜひご覧下さい!

真岡市議会議員  
中村かずひこ  
ホームページ

<http://www.nakamurakazuhiko.com>

なお、Yahoo! JAPANで「中村かずひこ」と検索しても、ご覧いただけます。



## 中村かずひこ活動目録

- 4/1 行屋川桜まつり点灯式に出席
- 4 「ひばりの会」定例会に出席
- 6 交通安全指導(高間木の交差点)
- 8 「大谷福寿会」4月定例会に出席
- 大谷地区総会に出席
- 9 駅前通り桜祭りに参加
- 10 あいさつボランティア
- 真岡中学校入学式に出席
- 11 真岡西小学校入学式に出席
- 真岡青年会議所例会に出席
- 13 真岡地区戦没者慰霊祭に出席
- 伊夜日子会総会に出席
- 17 あいさつボランティア
- 18 「ひばりの会」総会に出席
- 22 ローカルmanifesto推進地方議員連盟総会に出席(於:東京・主婦会館)
- 23 大谷地区「わかば会」総会に出席
- 24 あいさつボランティア
- 25 第3回市政報告会
- 30 都市政治フォーラム設立総会に出席(於:千葉県浦安市)
- 5/6 「地方自治を学ぶ会」勉強会に出席(於:宇都宮市)
- 8 あいさつボランティア
- 9 ひまわり園にてヒアリング
- 10 真岡コンピュータ・カレッジにてヒアリング
- 12 壮年ソフトボール大会で大谷地区の応援
- 14 「悠々の会」総会に出席
- 「かざぐるまの集い」勉強会に参加
- 15 あいさつボランティア
- 会派間協議
- 16 真岡西小学区健全育成連絡会総会に出席
- 17 議員協議会
- 臨時議会
- 建設常任委員会
- 5/21 明治大学校友会栃木県支部総会に出席
- 22 あいさつボランティア
- 23 七井・松が丘葉荘を慰問(「ひばりの会」の活動として)
- 25 真岡西小学校にてヒアリング
- 27 大谷地区子どもお囃子会総会に出席
- 29 あいさつボランティア
- 30 真岡鐵道にてヒアリング
- 31 真岡商工会議所にてヒアリング
- 埼玉県坂戸市を個人視察
- 6/1 6月定例議会開会
- 2 叙勲祝賀会に出席
- 5 あいさつボランティア
- 一般質問の通告書を提出※その後、市の担当部署と内容のすり合わせ
- 福田市長と面会※救急医療問題等で意見交換
- 6 「ひばりの会」研修に参加(於:群馬県前橋市)
- 7 真岡青年会議所次世代育成委員会に出席
- 8 「ひばりの会」小学校読み聞かせに参加(於:大内西小学校)
- 12 質疑・一般質問1日目※この日、4人目に登壇
- 13 質疑・一般質問2日目
- 海外友好協会総会に出席
- 14 さくら市議会を傍聴
- 15 建設常任委員会
- 真岡青年会議所次世代育成委員会に出席
- 16 真岡青年会議所主催「創造美育」勉強会
- 17 真岡西中学校スポーツフェスティバルに出席
- 19 6月定例議会閉会
- 議員定数問題等研究会
- 20 「ひばりの会」定例会に出席
- 24 真岡市ボランティア連絡協議会研修会に参加
- 大谷地区親睦ボーリング大会に参加
- 25 台若総会に出席
- 26 あいさつボランティア
- 30 熊倉町区長(1~4区)と意見交換会